

みんながつながる ミライにつながるスマートシティ

愛知県豊田市（2018年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	自動車産業の生産拠点が集積した産業都市でありながら、市域の70%の森林を有する人口約42万の中核市。都市と山村の2面性を合わせ持ち、地域ごとに多様な文化や暮らしがあり、地域課題も多種多様。本市では、先進技術や実証事業を積極的に取り入れ、官民相互連携し、多様なステークホルダーと共働することで、様々な地域課題の解決を図っている。	2. 関連するゴール 
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	官民相互連携のプラットフォームとして、本市をフィールドに先進技術実証を行うことを目的とする「豊田市つながる社会実証推進協議会」、SDGsの普及啓発を目的とする「とよたSDGsパートナー」がある。地域人材の知見や資源、技術をつなぎ補完しあうことで、地域課題の解決を図り、ビジネス創出、まちといなかの魅力向上、人とのつながりの促進や生きがいの創出による市民生活の向上といった好循環を確立した、持続可能な都市を目指す。	
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 【SDGs認証制度の運用】 ➢ SDGs認証制度について受付・審査等の制度運用を開始。 ➢ 式典開催や認証者を取り上げるケーブルテレビ番組制作等ブランディングにも注力 【SDGsパートナー制度の運用】 ➢ パートナーによる「PlatformClover」の活用支援（研修及び活用手法・事例の共有）を実施。 ➢ 連携事業の創出に向け、資源循環をテーマとした交流会等を実施。 【市民・企業を巻き込んだSDGs啓発事業を促進】 ➢ 2022年度に制作したSDGs研修カード「とよたSDGsマスター」の活用人材を育成するとともに、地域事業者が自らの活動をSDGsを通じて子どもに伝える「とよたSDGsミライ大学」事業を実施した。	6. 取組成果 【SDGs認証制度】 ➢ 2023年度に実施した2回の申請受付において受付上限である100件の申請を受け付け、87事業者に対して認証を行った。 ➢ 地域金融機関及び地域商工団体との3者連携による事業者支援体制が評価され、地方創生SDGs金融表彰を受賞した。 【SDGsパートナー制度】 ➢ 2022年度末において485団体であったパートナーは、制度改正を受けて2023年度末においては255団体まで減少したが、パートナーとの連携事業数は増加した（20件→21件） 【市民・企業を巻き込んだSDGs啓発事業】 ➢ 研修カードの活用人材56名の養成を行い、延べ631名の市民がカードを用いたSDGs講座を体験した。 【国際的情報発信】 ➢ HLPFにて市長が登場し、本市のSDGs推進に関する取組について発表した。	
5. 取組推進の工夫 SDGs認証制度では補助金の増額やPR事業等のインセンティブを設けたことにより、地域事業者からの大きな関心を集めることができた。	7. 今後の展開策 国連機関の協力を受けて本市を含む自治体及び企業が共同で開発した「自治体SDGsモニタリングツール」によるSDGs達成度評価に取組んでいる。これに合わせ、モニタリングツールから得られた知見を市の施策に反映させるための仕組みを検討中。	
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	SDGs認証制度については小牧市において制度構築に向け検討を開始している。全国を対象とした認証制度の構築に取り組む団体も出てきており、本市として意見交換を行いながら連携可能性を検討している。	